

示差走査熱分析装置

機種

Thermo plus EVO3 DSCvesta2
(株式会社リガク)

2024年
新規導入



概要

概要	示差走査熱分析（DSC）とは、試料を一定の温度プログラムに従って加熱または冷却した時に、試料内に発生する熱エネルギーの変化を測定する方法です。ガラス転移、融解、結晶化、結晶転移などの反応温度や反応エネルギー量を調べる際によく利用されます。	
主な仕様	<ul style="list-style-type: none">・測定方式・冷却ユニット・測定温度範囲・測定雰囲気・昇温速度・降温速度・DSC感度 / ノイズレベル(RMS)・オプション	<p>熱流束型 電気冷却 -95℃ ~ 725℃ 窒素ガス 0.1℃/hr ~ 50℃/min 1℃/hr ~ 20℃/min 0.1μW/0.05μW ダイナミックDSC(温度変調DSC) 比熱容量解析ソフトウェア</p>

この試験装置は、2024年度に公益財団法人JKAの補助金を活用して整備したものです。

